

問1 1 麒麟獅子舞を後世へ継承していくためにどのような取組が必要だと思いますか。

後継者の育成
小学校・中学校で、麒麟獅子舞の歴史をしっかりと理解したうえで、麒麟獅子舞を体験するような活動を積極的に進める。
全国にSNSで発信したり、イベントを県外ですたりする。
単発ではなく一年を通してイベントの時には麒麟獅子舞を知らない人にも興味を持ってもらえるよう駅とか砂丘とかに展示してアピールするといひ。
まずは知る機会と興味を持つきっかけが必要だと思ひ。小学校の音楽室に麒麟獅子のポスターが貼ってあった。地域によって色んな顔の麒麟獅子がいて、しかもこんなに沢山の種類がいてのかとびっくりした。あまり、深い意味は知らなかったけど図鑑を見ているようで面白かった。子どもたちが興味を持つきっかけにこのようなリーフレットを配布するのも面白いと思ひ。また、文化祭や運動会で地域住民が麒麟獅子を披露するのも良いと思ひ。
様々なイベントの機会を通じて披露することが必要だと思ひます。
麒麟獅子の 出番が あまり ないような気がします。 もっと お正月とか 節目に 舞っていたら 小さいときからの記憶にインプット されて 引き継がれていくのではないのでしょうか？
麒麟獅子舞を踊る楽しみを、若い世代に広めて、舞ができる後継者を育成していく事だと思ひます。
次世代へと継承して行くために、練習などのハードルを下げること。 回数や内容があまりにも厳しいと、興味が湧いても現実的に困難だと人の関心は遠退くから。
今までのように地域や村で獅子舞を続ける。活動を続けるために地域交流を獅子舞以外の形でも積極的に行っていく。
麒麟獅子舞とコラボした食事メニューやお土産の開発。麒麟獅子舞を実際にやってみることができる体験イベント。
その意義を広く知らしめ、後継者を育てることだと思ひます。 各集落の獅子舞なども、一時期後継者がいなくて断念していたところが多かったと思ひますが、青年団やその年齢を30、40、今では50歳くらいまで引き上げて後継者を作っているところもあるようです。若い力の大学生、さらに高校生まで広げているようですから。
難しいことは私にはわからない。子どもたちに、そのカッコ良さを知って欲しい。少し前は、酒飲みのおじさんの集まりだと思っていたけれど、コロナをきっかけにお酒抜きで祭りが行われるようになり、女性や子供が参加しやすくなった。きっかけはコロナだけど、いい方向にシフトできたと思ひ。いろんなところで舞ってほしい。市役所でも、公園でも。みんなに身近に感じて欲しい。
YouTubeなどで世界にアピール！
子供たちへのワークショップ。
学校で学ぶ
子どもたちが怖がらずに親しむイベントが増えるといいなと感じます。我が子も実際に舞を見ることで怖がらずに自分から頭を差し出していくようになりました。

舞う人の減少や高齢化が問題となっているのではないかと考えられるので、学校や公共施設などで披露する場を設けて、多くの人の興味や関心を惹きつける取り組み。

実家のある地域では地区の祭りに必ず麒麟獅子舞があり、地域の大人、子どもも参加し、祭りの数週間前には笛、太鼓、舞いの練習があります。しかし子どもの数も減り、しかも男子のみと昔から決まっているため、参加者が年々減っています。他地域からの参加を募る、女子の参加(神事の女性への差別撤廃)を認めることが必要であると思います。

子供が中学生の頃から、神社の麒麟獅子舞のメンバーに入れていたたいしています。祭りの日に部活帰りに獅子に出会ったようで帰宅してすぐ「麒麟獅子がしたい」といいました。

賑やかに地区を回り、何か息子がひかれるような声かけ、雰囲気を出していらっしやっただと思います。入ってからも、獅子はもちろん、それ以外のことも多く学ばせていただいています。本当に地域で育てていただいています。若い世代が入りやすい雰囲気、地域で若者を育てよう、という、メンバーの方々のお気持ち大切です。

楽しいものに変えていく。あまりにも地味。子供麒麟獅子を増やす。

継承していこうと思っているのは行政担当者だけでは。

小学校や中学校と連携して、児童生徒が麒麟獅子舞を観る機会を増やしていく。そうすれば、麒麟獅子舞について知る人が多くなると思います。

子供たちへの啓蒙活動が必要だと思います。カッコいい、と思えるように是非、学校の授業でも取り上げて頂きたいです。体育の授業とか

コロナ過であろうが、続いてきたものは継続していくことが大事だと思います。

学校での行事や地域でのイベントなどでの活用。一部の地域だけが活動しているイメージなので、地域全体で体験などを広めていく。

1. 子供麒麟獅子舞の積極実施。
2. 池田光仲・麒麟の歴史的背景のさらなる調査実施。
3. 学校教育において舞いを教材に取り入れる。

イベントなどで認知度を上げるとかが必要と考えます。

なぜ獅子舞が広がったのかのストーリーをもっと広めてほしい

子どもたちに伝統文化の重要性を理解してもらうためにも、学校に出向いて出張公演をする。グッズの販売。本来は例大祭などで舞うものだと思うが、観光客向けなど、もっと機会を捉えて舞うことが増えれば、やってみたいと思う人も増えるのではないかな。

幼稚園や小学校くらいで体験イベントをする

踊り手の後継者がいるのかどうかかわからず、まず気になります。いなければ後継者の育成が急務です。経費はかかりますが、全国の祭りやイベントで参加できる場所があるなら積極的に出ていき、舞のときには踊り手として駆けつけますという人を見つけたり、全国でサポーターを募ることも必要では？

地域ごとに舞いも異なるので、その違いで合ったり、どんな歴史がありそうになっていったかなどの歴史を発信していくのも面白いと思います。すでにあるかもしれませんが、他県のイベント等にも赴いて実際に見て興味を持ってもらう事も必要だと思います。そこから鳥取への興味や、麒麟獅子をやってみたいと感じる方を1人でも多く知って貰えたらと思います。

また、鳥取砂丘、ラクダなどのイラストを使った文房具などたくさん種類がありますが、麒麟獅子のイラストをモチーフにした鳥取お土産グッズなども増えれば、観光客の方にも認知され、なんだろう？もっと調べてみよう！と繋がっていくのではないかと感じました。

子どもたちとその親の世代に文化を知ってもらうこと。

いろんなイベントに麒麟獅子舞を招待して舞ってもらう。目にする機会が増えればそれだけ関心をもつ人が増え、その中から、やってみたいと思う人たちが出てくると思います。

麒麟獅子舞が登場する機会を増やし、一般のかたの前で舞う。

そのいわれや、地域の違いを分かりやすく比較、説明してほしい。

地域の住民以外も構成団体に参加できる。（閉鎖性が無い事を広く伝える）

公演は有料観覧を原則とする。

各地区の保存会の団体の人達が後世に継承していくために努力されてます。取り組みに対して考えが浮かびません。

麒麟と麒麟獅子の違いから、まず知ろう。また、麒麟でなくとも、権威のあるものを掲げたかったという前提があったこと、その意味では別にミッフィーでもゴジラでもよいという事実を知ろう。また、いま中国に関して喧々諤々であっても、大陸からの文化であることを隠さないで欲しい。これらを含めて、初めて「継承」と呼ぶはずである。

麒麟獅子舞を触れ合う機会をつくる。

- ・麒麟獅子舞のこの地独自内容と各地連携の行事イベント、麒麟獅子舞伝承の日などの創造。
- ・各地の麒麟および獅子舞を集めた伝承館の創造。
- ・継承者育成、助成とさらなる情報発信。

話をして行く

市民クラブを作って参加者を募り、舞を教えたり、麒麟獅子講座を開催し歴史、価値を啓蒙する麒麟獅子のレプリカを駅とか砂丘とか観光地に置く。